

川崎の 社会福祉

川崎市
社会福祉協議会



2019.04
April

春

No. 585

5月5日から
11日までは「**児童福祉週間**」です!!



川崎の社会福祉
イメージキャラクター
「ななまるくん」



夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習
「チャレボラ2018」の場面から

児童福祉週間とは？

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定め、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、全国各地の関係機関・団体が児童福祉の理念を普及・啓発するため、さまざまな事業や行事を行っています。

2019年春号の記事

- ゴールは川崎を幸せにすること
J1クラブ川崎フロンターレの挑戦 P2
- 【特集】60歳以上のみなさん、必見!!
「老人福祉センター」「老人いこいの家」を
ご紹介します! P4



ゴールは川崎を幸せにすること



J1クラブ川崎フロンターレの挑戦

昨シーズン、J1リーグで史上5チーム目となる2連覇を達成した川崎フロンターレ。同時に、Jリーグ全55チーム中「地域貢献度No.1クラブ」の称号を9年連続で獲得した(※)、プロスポーツ界屈指の地元密着クラブでもあります。

スタジアムに足を運ぶサポーターのためだけでなく、川崎市全体の地域貢献と活性化のため、大小さまざまな地域活動に力を注ぎ続けるその理由は、

株式会社川崎フロンターレ 集客プロモーショングループ 赤松文梧さんにお話を伺いました。

※Jリーグスタジアム観戦者調査2010~2018年より

— 川崎をもっと明るい街に!! 地域貢献活動を行う原動力

Jリーグの基本理念として「地元密着・地域貢献」がクラブチームのミッションとして掲げられていますが、同時に私たちは地域の皆さんへの感謝の想いと川崎を明るくしたいという強い気持ちを持っています。

過去にプロスポーツチームがいくつも離れていった経験から、川崎はスポーツが根付かない街と言われていましたが、それでも粘り強く地元での活動を続けることで、本当にたくさんの方に応援していただけるようになりました。J2降格などチームとして苦しかった時期も、地域の方々に励まされ支えていただいたおかげで今のフロンターレの姿があります。また、かつての川崎が背負っていたマイナスイメージを払拭していく上で、フロンターレが明るい象徴の1つでありたいというのが私たちの願いです。

スタジアムでは障害者や引きこもりの人の就労体験を提供したり、小学校へコーチを派遣して児童のスポーツ普及に努めています。地域との繋がりのありがたみをも

もって知っているからこそ、地域に住むあらゆる人に向けて活動を展開していきたい。08年から継続して共同募金会と協働している赤い羽根募金活動も地域貢献



▲小学校でのサッカー教室

の1つ。選手やマスコットがPRすることで地域福祉のお手伝いができるのなら喜んで協力させていただきます。



▲ピンバッジやクリアファイルなど、コラボグッズも多数制作



— 選手たちに引き継がれる 「川崎への想い」

中村憲剛選手をはじめ、ベテラン選手たちが積極的に活動へ協力する姿を若い選手に見せてくれています。多摩川の清掃運動など選手会主催のイベントも数多くありますし、クラブの地域貢献活動への理念が選手たちの中で引き継がれていると感じますね。

毎年、新人選手研修の一環として地元商店街の皆さんにご協力いただいておりますが、そこでは商店街の方が若い選手に向けて、これまで



▲商店街へポスターをお渡し

クラブが地域との繋がりを大切にしてきた歴史をお話してくれます。選手は実際に市民の皆さんの声を聞くことで、自分たちが川崎という街にとってどのような存在であるべきか自覚を持つきっかけとなる貴重な機会です。

— 川崎の魅力を知ってほしい

イベント企画で重視するのは「社会性・地域性・話題性」

例えば、市内の各工業組合との共催で毎年開催している「ものづくりフェア」。中小工場は、どこも不景気や後継者不足の問題を抱えながらも、良いモノを作ろうと一生懸命頑張っています。世界に誇る技術力を持つ町工場もあるのに、その事実があまり知られていないのは残念ですね。ホーム試合がある日はスタジアム周辺に2万人以上のサポーターが訪れますから、そこで川崎のものづくりの底力を見せてやろうと、町工場の職人さんたちと一緒に頭をひねって作り上げたのが「ものづくりフェア」です。

イベント当日は、工作教室や鉄工所の作業体験ができるブースがスタジアム前にずらりと並び、大人も子どもも夢中になって参加しています。同時に、昨年はチェーンソーアートの実演など驚きと話題性のある企画を用意しました。何かプラスαを加えることでより一層の注目を集め、記憶に残る地域の魅力発信の場となるよう取り組んでいます。

川崎という街の魅力を市民の皆さんに知っていただくと共に、スタジアム周辺の活気ある雰囲気を味わうことでフロンターレをもっと好きになってもらえると嬉しいですね。



— もっと強く、より愛される存在へ

今シーズン、チームはJリーグ3連覇を含め4冠達成を目指しています。やはり強ければ強いほど注目され、結果“川崎”という言葉メディアで目にする機会も多くなります。

川崎の代表として恥ずかしくない成績を残したい。けれど

単に強だけでなく、地域に深く根付いて市民の皆さんと一緒に川崎フロンターレというチームを作り上げていく。そんな、いつまでも親しみやすく愛される存在であり続けたいです。



◀川崎フロンターレ 集客プロモーショングループ
赤松さん
今シーズンもあっと驚くイベントを多数企画中とのこと。楽しいお話をありがとうございました。

試合日程			
4/5	J1第6節 vsC大阪 19:00等々力	5/12	J1第11節 vs清水 14:00アスタ
4/10	ACL グループステージ第3節 vs蔚山現代 20:00蔚山文殊	5/17	J1第12節 vs名古屋 19:00等々力
4/14	J1第7節 vs鳥栖 14:00駅スタ	5/21	ACL グループステージ第6節 vsシドニーFC
4/19	J1第8節 vs湘南 19:00等々力	5/26	J1第13節 vs大分 16:00大銀ド
4/23	ACL グループステージ第4節 vs蔚山現代 19:00等々力	6/1	J1第14節 vs浦和 19:00等々力
4/28	J1第9節 vs神戸 14:00ノエスタ	6/14	J1第15節 vs札幌 19:00等々力
5/3	J1第10節 vs仙台 15:00等々力	6/22	J1第16節 vs広島 19:00Eスタ
5/7	ACL グループステージ第5節 vs上海上港 19:00等々力	6/30	J1第17節 vs磐田 19:00ヤマハ



赤い羽根共同募金活動のご報告

平成30年度共同募金実績表(川崎市)

広報啓発用ポスターやバッジの制作協力等、川崎フロンターレと二人三脚での赤い羽根共同募金運動も、今回で10周年を迎えました。

市民の皆さまをはじめ、町内会・自治会・企業・学校等各種団体のご協力により、多くのご寄付をいただきました。皆さまのご協力に心より御礼申し上げます。

集まった寄付金は、神奈川県共同募金会の配分計画に基づき、県内および川崎市市内各区の福祉活動に活用される仕組みとなっています。

今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

募金種別		実績額
一般募金		96,656,586
内訳	戸別募金	73,498,390
	街頭募金	6,181,547
	法人募金	4,881,358
	学校募金	2,634,287
	職域募金	4,157,661
	イベント募金	786,717
	その他募金	4,516,626
年末たすけあい募金		61,265,407
合計		157,921,993

平成31年2月26日現在

配分金はこのように使われています

高齢者の生きがいづくり



ふれあい会食会

福祉サービスの充実



福祉施設への車両の提供

子ども達の笑顔のために



保育まつり

多くの善意を
ありがとうございました





60歳以上のみなさん、必見!!

全4ページ

「老人福祉センター」「老人いこいの家」をご紹介します!

川崎市からの指定管理を受け、2019年4月より「7区の老人福祉センター、老人福祉・地域交流センター」「市内48ヶ所の老人いこいの家」の運営を各区社会福祉協議会が行うことになりました。

今号では、施設の概要をご紹介しますとともに、「なぜ社会福祉協議会(社協)が運営をするのか?」本会のキャラクターたちが考えてみることにしました!

～僕たちが、ご紹介します!～



普段は「高齢社会福祉総合センター」で
研修企画の仕事をしているよ!

僕の名前は「ケンケン」
川崎市社会福祉協議会に勤めて3年目。
老人福祉センター・老人いこいの家の勉強を
するため「ふくろう先生」に教わりに来ました!

しっかり
勉強するのじゃぞ!



ワシは「福祉情報バンク」で活躍してあるぞ。
川崎の福祉情報は、ワシにお任せ!
困ったときは「川崎市 ふくみみ」で検索じゃ!

「老人福祉センター」「老人いこいの家」を利用できるのは?

- 利用時間 午前9時～午後4時(月～土曜日)
- 利用料 無料(講座等受講の場合、教材費が必要)
- 利用できる方 川崎市内在住の満60歳以上の方
- 休館日 日曜・国民の祝日(敬老の日は除く)・年末年始

※老人福祉センターを初めてご利用の方は、身元の分かるもの(健康福寿手帳や健康保険証など)をご持参ください。

各区社会福祉協議会が管理する老人福祉センター・老人いこいの家(2019年4月より)

各施設の詳細については、各区社会福祉協議会へお問い合わせいただくか、各区社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

老人福祉センター(7カ所) (老人福祉・地域交流センター)		老人いこいの家(48ヶ所) ※問い合わせは、各区社協地域課
かわさき老人福祉・地域交流センター (TEL:044-233-5592)	川崎区	大師、殿町、京町、大島、田島、藤崎、小田、渡田、桜本 (TEL:044-246-5500)
さいわい健康福祉プラザ (TEL:044-541-8000)	幸区	小倉、御幸、古市場、下平間、南河原、日吉 (TEL:044-556-5500)
中原老人福祉センター (TEL:044-777-6000)	中原区	西加瀬、丸子多摩川、等々力、新城、こうじ、井田、中丸子 (TEL:044-722-5500)
高津老人福祉・地域交流センター (TEL:044-853-1722)	高津区	末長、子母口、上作延、高津、梶ヶ谷、東高津、くじ (TEL:044-812-5500)
宮前老人福祉センター (TEL:044-877-9030)	宮前区	平、鷺ヶ峰、白幡台、野川、有馬 (TEL:044-856-5500)
多摩老人福祉センター (TEL:044-935-2941)	多摩区	登戸、南菅、中野島、枳形、長尾、錦ヶ丘、菅 (TEL:044-935-5500)
麻生老人福祉センター (TEL:044-966-1549)	麻生区	白山、王禅寺、片平、百合丘、岡上、麻生、千代ヶ丘 (TEL:044-952-5500)

※管理期間は2024年3月までの5年間(中原老人福祉センターを除く)

※中原老人福祉センターは、現在の管理期間を2017年4月より指定を受けており2022年3月まで

※川崎区・高津区の老人福祉センターは地域交流センターとしての機能も有し、多目的に施設を利用してもらうため、夜間・休日の貸室業務等も行っています。



うわあ～、こんなにたくさん!
社会福祉協議会は
どんな運営をするんだろう?

なかなか良い視点じゃ!
老人福祉センター・老人いこいの家の
活動紹介から、考えてみるのじゃ!



中原老人福祉センター ～利用者さんと職員による 「家族」のような雰囲気づくり～

川崎市内には各区1ヶ所、計7つの老人福祉センターがあります(そのうち川崎区・高津区は、年代を問わず市民交流の場を提供する「地域交流センター」としての機能も有しています)。

今回ご紹介する中原区井田にある「中原老人福祉センター」は武蔵小杉・武蔵新城等から無料送迎バスが運行されており、数多くの方にご利用いただいています。



センター職員

「老人福祉センター」は、どのようなところ？

教養の向上、健康の増進及び活動を広げるための各種講座や、利用者間の交流等を目的とした各種行事を実施しています。また、生活や健康についての各種相談に応じています。

中原老人福祉センターの取組 (各老人福祉センターによって取組は異なります)

★季節・地域性に合わせたさまざまな行事



取材した2月1日は「節分祭」。年男・年女が豆をまき、77名の方が参加しました。落語をしている須藤泰史さんは、川崎市内中学校の元教頭先生！

★各種講座・クラブ活動



自らが楽しむだけでなく、さまざまな人たちとの出会いが広がります！

★自由に過ごせる場



卓球・お風呂・カラオケ・囲碁将棋・図書室・談話室等、1日中過ごせます！

★地域の人たちが交流できる取組

中原区では、中原養護学校の生徒たちと花壇づくり、敷地内の畑では中央地域療育センターの子どもたちと野菜づくり等のボランティア活動を実施しています。



ご利用されている方の「声」から！



信太さん(中央球技会)、文子さんと夫(30年近くご利用しています)

- 自宅にいたい。お風呂に入り終えた後でも、講座後でも、少しでも長く過ごしたい雰囲気があります。
- 初めての人に来て、溶け込みやすい！職員の細かな配慮があり、利用者も雰囲気づくりに努めています。
- 仕事一筋で生きてきましたが、「老人福祉センター」がきっかけでさまざまな人たちとの出会いが生まれました。
- 子どもたちと一緒に、花を植えたり、草むしりをするのが本当に楽しいです。

お風呂に入ったり、講座を受講するだけじゃないんだね！



すごく楽しそうだなあ～、地域との関わりもあるんだ。それに「利用者さん」というより……「家族」みたい！！利用者みなさんも、良い雰囲気をつくる役割を担っているんだね。

日常の挨拶・声掛けによる「おもてなし」の心を持つこと、講座・イベントによる「さまざまな仕掛けづくり」！社協職員の気持ちが、利用者みなさんに伝わる努力が必要じゃ！



利用者さんの笑顔は、明るい地域づくりにつながるのじゃ！

「老人いこいの家」のご紹介

長尾老人いこいの家(多摩区)

～楽しいだけじゃない！
地域で声を掛け合う関係づくり！～

今回ご紹介する「長尾老人いこいの家」は、JR南武線の宿河原駅から徒歩圏内の場所にあり、近隣地域にお住まいの方を中心に数多くの方にご利用いただいています。



いこいの家職員



長尾老人いこいの家

「老人いこいの家」は、どのようなところ？

地域のお年寄りのふれあいや生きがいの場としての機能に加え、地域で支え合い、助け合っていくための福祉活動としての拠点機能を併せもつ施設です。

「老人福祉センター」同様
さまざまな講座を行っているぞ！



「老人福祉センター」を小さくした感じ！
でも、より地域に密着した取組ができるね！

長尾老人いこい家の取組 (各老人いこいの家によって取組は異なります)

★トラフィックで交通安全



(写真は、2月7日、長尾いこいの家)
「交通安全(トラフィック)」と「エアロビクス」を組み合わせ、その名も「トラフィック」。体操しながら、交通安全の知識を身に付けます。区役所・警察と協働し、平成30年度は、多摩区内全7館の老人いこいの家で開催しています。

★ふくし寄合処



(写真は、中野島いこいの家)
長尾を含めた、多摩区内4館で実施。「誰かと話したい！」赤ちゃんから高齢者まで、どなたでも参加できます。

★子どもたちとの交流



(写真は、登戸いこいの家)
登戸では「昔遊び」、長尾では「おいもパーティー」等、各いこいの家で趣向を凝らした、子どもたちとの交流が行われています。

ご利用されている方の「声」から！



- 3年前に体操教室に行ったのがきっかけ。とても居心地の良い空間です。
- いこいの家の職員さんは、できた人ばかり。とても良くしてもらっています。
- いこいの家に来るようになって、本当に、たくさんの人たちとの出会いが広がりました。
- 地域を歩いていても、知っている人たちに会っては声を掛け、そして声を掛けられます。

星さん、89歳！
(インタビューの後、町内パトロールに出かけていきました！)

ふくろう先生、
ありがとう
ございました！



そうか！施設で楽しい時間を過ごすだけじゃないんだ。
近所の人たちが、互いに声を掛け合う関係づくり！
それって・・・社協の果たすべき役割だよね！！

特に「いこいの家」は、たくさんあるから、各地で顔が見える
関係が築きやすいのじゃ！その関係が広がるかどうか・・・
「いこいの家職員」が果たす役割は大きいぞ！！



これこれ、まだ終わっとらんぞ！
最後の宿題じゃ。先輩から
社協職員としての極意を
学ぶのじゃ！

僕がインタビューして来たよ!



社協職員の実践報告! ~末長老人いこいの家(高津区)~

「末長老人いこいの家」は、最近、利用者も大幅に増えて、地域活動も活発に行われておる。



新たな講座・取組を行う秘訣は?

地域の運営委員の皆さんとの関係がとても良いことです。私たち管理人が他地域でのいこいの家職員をしていた経験を活かし、新しい取組を始めるときに困ったこと等があっても、**運営委員の皆さんが見守り、フォローしていただく**ことで安心してさまざまな取組を行うことができます。

◀中央は関口運営委員長!
宮田職員(左)、岩谷職員(右)にインタビューをしました!

たくさんの人に来てもらうには!

「あきらめない」ことです。たくさんの人たちに来てもらいたいと思った「ぶらっと体操」という講座の参加者は最初3人だけでした。しかし、**利用者さん一人ひとりに声を掛けると徐々に口コミで広がり**、今では時間を3回に分けて実施しています。もちろん前提として、**利用者さんの声を把握**することで必要な講座等を企画していきます。

職員として大事にしていることは?

「逃しちゃいけない!」ことです。それは、講師をしてくれる人・いこいの家に友達を連れてきてくれる人等もそうですが、**「支援が必要な利用者さんかも」ということです。大事にしていることは「近所のおばちゃんでありたい」と思っています。**普通、行政等へ相談に行く時は、困ったことが起きてから相談に行きます。しかし、いこいの家職員は、利用者さんと何気ない会話をすることで、**困ったことが起きる前に、関係機関へつなぐ**ことができます。



それって
凄く大事な
こと!



社協は、地域のたくさんの人たちにより構成されている組織。

そして、さまざまな場面で、福祉の専門性を発揮するたくさんの方がいる。

社協が管理する「老人福祉センター」「老人いこいの家」だからこそ、利用者さんが困っていることがすぐにわかり、さまざまな人や関係機関へつなぐことができるのですね!!

高齢者の皆さんにとって居心地が良い場所となるだけでなく、今後はもっとすべての世代の人たちが交流できる拠点として、充実させるのじゃ~!!



立派な社協職員になるのじゃ!

末長老人いこいの家 30年の歩み

橋

末長老人いこいの家は昭和62年に開設されましたが、開設される以前この辺りの土地は深い谷であり、大規模な埋め立て・造成工事によって住宅地に変貌しました。

元地主でもありました明鏡寺の原田様のご尽力により、末長老人いこいの家が建設開設することができました。現在も施設的环境は緑豊かで光溢れる多摩丘陵、末長の丘にあり、鳥のさえずりも聞こえる静かな処ですが、長い坂道を登らなければならないのが、最大の難点です。

建設から30数年になり劣化が進み、昨年11月から屋根工事を含む外壁塗装工事等全面リニューアルが現在行われています。完成後のいこいの家は明るい屋根と外壁で、かなりの存在感が出せると思います。

以前の施設活動は民生委員によるミニデイ・ひとり暮らし高齢者の会食会と習字、絵手紙、カラオケ等の活動が中心でした。現在の管理人さんになって、さらに活動が広がり、屋外では狭い庭ですが、ガーデニング活動から、屋内では太極拳・フォークダンス・健康体操・折り紙・大人のぬり絵・歌声広場からパソコン入門等々、体育系、文化系10数科目の多彩な活動が行われており、年間延べ15,800人の方々が利用されております。

また、地域の保育園の園児や、わくわくの子供達との、ふれあい交流会等も積極的に行われています。

今後益々高齢化は進みますが、多くの方々がこの施設を利用されますよう、お待ちしております。

末長老人いこいの家
運営委員長 関口 務

第1回 福祉のお仕事就職・転職フェア

予約不要、履歴書不要、服装自由！
市内の福祉法人・事業所40法人が集まる就職相談会です。福祉のお仕事に興味のある方はぜひお越しください。



オリジナルグッズを
もらえる
スタンプラリー実施！

求人担当者と直接
お話できます
気になることは何
でも聞いてみよう



当日はイベント盛りだくさん！
詳しくはHPをご覧ください

- 日時……2019年6月28日(金)
開場13時30分/終了16時30分
- 会場……高津市民館
- 参加費……無料



■お問い合わせ 福祉人材バンク TEL:044-739-8726

受講無料 暮らしサポ養成研修

かわさき暮らしサポーター(暮らしサポ)は、高齢者のご自宅を訪問し、日常生活上の家事(掃除・洗濯・調理等)のお手伝いをするお仕事です。

Point 1
主婦
(主夫)
大歓迎

Point 2
選べる
はたらき方

Point 3
資格
不要

あなたの家事スキル 週1日/1時間~OK! 1日程度の研修で
を活かせるお仕事 都合に合わせて 必要な知識を学べ
ます! 働けます ます

- 日時……2019年5月27日(月)
10時~16時45分
- 会場……高津市民館
- 受講料……無料
- 事前申込が必要。詳細は下記へお電話ください

■お問い合わせ 介護支援課 TEL:044-739-8712

宮前区社協共催事業 補聴器とコミュニケーションの講座

聞こえづらい=難聴は認知症の危険因子！
耳が聞こえにくい人やその家族・関係者を対象に、補聴器の基礎知識や上手な使い方学びます。

- 日時……2019年7月26日・8月2日・9日・16日(全4回)
13時30分~15時30分
- 会場……宮前老人福祉センター
- 参加費……無料
- 定員……50名
- 申込み……電話・ハガキ・FAXにて下記まで(7/19必着)

■お問い合わせ
川崎市聴覚障害者情報文化センター
〒211-0037 中原区井田三舞町14-16
TEL:044-798-8800/FAX:044-798-8804

赤十字活動への御支援をお願いします

日本赤十字社は、人々の命と健康を守るために国内外の災害救護活動、医療事業、血液事業、社会福祉事業など幅広い活動を展開しています。

赤十字活動は皆さまから寄せられる御寄付によって支えられています。一人でも多くの人を救うため、御支援と御協力をお願いいたします。



■お問い合わせ
日本赤十字川崎市地区本部
事務局 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室介護担当
TEL:044-200-2628/FAX:044-200-3926

寄付御礼

たくさんのご寄付を
ありがとうございます

川崎市社会福祉協議会の地域福祉活動へのご寄付

- 一般社団法人川崎市弘済会 様
 - 登戸混声合唱団 様
 - 一般社団法人生命保険協会 神奈川県協会 様
- (2018年11月21日~2019年2月28日) (順不同)

福祉基金へのご寄付

- 佐野 最一郎 様 ●福田 泰子 様
- ### 物品のご寄付
- 株式会社富士通マーケティング 様

8月17日(土)は川崎市総合福祉センター(エポックなかほら)は電気設備点検のため全館休館いたします。

■編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住 所: 川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL:044-739-8710 FAX:044-739-8737
E-mail: info@csw-kawasaki.or.jp HP: http://www.csw-kawasaki.or.jp

広報紙「川崎の社会福祉」に掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

発 行: 年4回(4・7・10・1月1日)

年間購読を希望される方は、82円切手
4枚をお送り下さい。